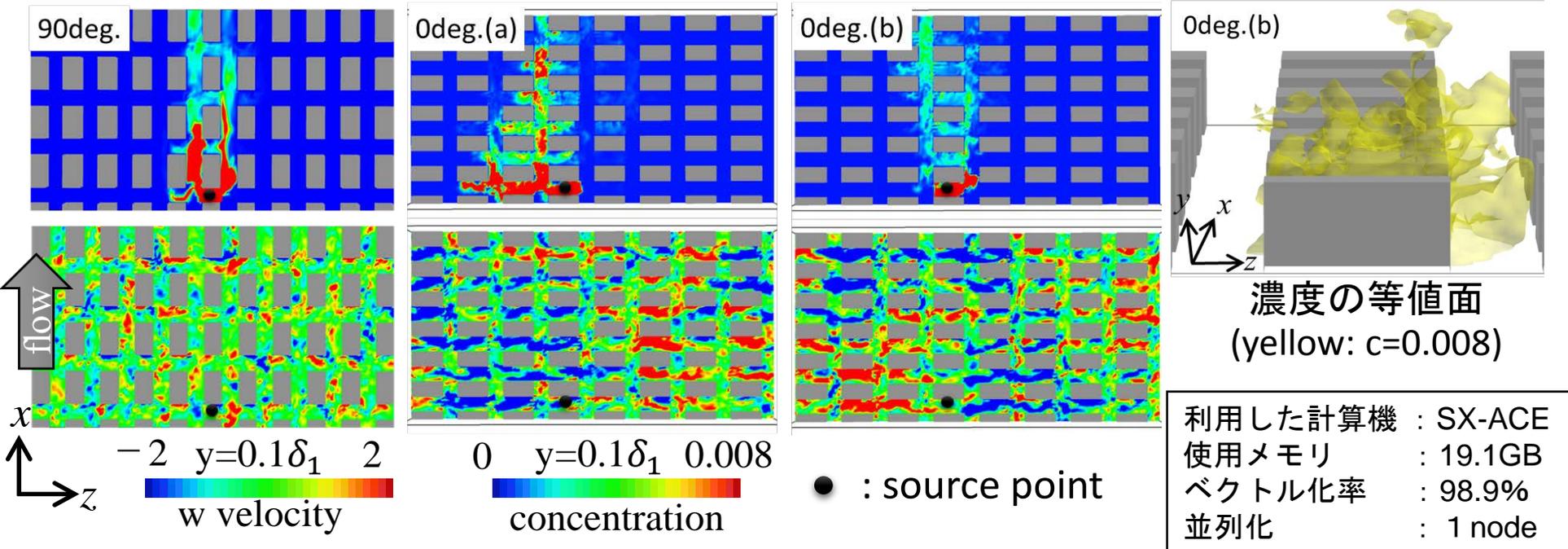


都市キャンピ―内外の気流・拡散挙動に関するLES

東京工業大学 総合理工学研究科 佐久間 悠人・尾崎 央明

- 目的** 直方体ブロック群における気流場・拡散場の解析
- 内容** 中立大気境界層を流入条件として用い、配置角度が90度異なる2種類の直方体ブロック群における気流場・拡散場の解析をLESを用いて行う。
- 結果** 見付け面積が広い配置パターンにおいて、キャンピ―内で支配的な側方風が発生した。また長周期で側方風の風向が変化するため、汚染物質がキャンピ―側方の一方から集中で流出した。見付け面積が狭い配置パターンでは、これらの現象が生じないため、直方体ブロック群の配置の違いが、気流場・拡散場に大きく影響することが示された。



90deg.、0deg.各瞬間における拡散場(上)とスパン方向風速(下)の瞬間図